こぶし通信

Vol.48
2019.6

■理事長コラム
雑感 ー平成から令和への“時代”の移り変わりにあたって…ー
■居宅支援 NEWS
日帰り旅行行ってきましたので
■相談支援事業
65歳問題、介護保険優先原則をめぐって
■生活介護　こっから NEWS
みんなと一緒ならできる!?
■仲間自治会 NEWS
Topix
■就労継続B型　ここに NEWS
ここすた仲間自治会のあゆみ
■こぶし後援会通信
こぶし後援会総会のご案内
パン工房に聞いてみました。
■新規事業報告
生活支援のための施設建設を、みんなの力で!
■寄贈
ありがとうございました!
タンブラーになりました!
■編集後記

社会福祉法人こぶしの会
〒630-8424　奈良市古市町529-4
電話 0742-63-6765　FAX 0742-63-6766　発行責任者/藤井　正紀
e-mail/kokkara@kokkara.jp　http://kokkara.jp/

Column

雑　感
平成から令和への“時代”の移り変わりにあたって…

社会福祉法人こぶしの会　理事長　　藤 井　正 紀

先般世間は、天皇の退位と新天皇の即位に際して、平成から令和への元号が変わることが大きな話題となりました。私自身は、計算や過去の思い出しに便利なので、元号よりも西暦の方が使いやすいと思っており、「こぶし通信」は西暦を使用しています。しかし、役所や公的な文書は元号を使っていますので、こぶしの会は、西暦も元号も両方使っています。

別の面から見れば、元号は西暦と違い、その元号毎に時代の〝区切り〟や〝代表する出来事を示す〟面もあります。私自身の経験から見ると〝昭和〟は子供、学生時代や成人、結婚時代ということになり、〝平成〟は教師活動、こぶしの会時代ということになります。

こぶしの会で見てみると、平成13年の社会福祉法人設立以来、次の平成14年から、平成26年までの約13年間にわたり、「こっから」、「ひまわり」、「ぐうぐうハウス」、「ふゅーちゃー」、「すたぁと」、「かたつむり」、「ここに」等を開設、事業展開を行ってきました。そういう意味では、平成の後半時代はこぶしの会の創設、発展の時代だと言えるかもしれません。

それでは〝令和〟時代は、こぶしの会にとってどんな施設づくりや施設運営を求められるのでしょうか？　こぶしの会は、自分たちの理念として以下の目標を掲げています。

＜障害のある人々が主人公＞
＜仲間ひとり一人が豊かな人生を築いてゆける施設＞
＜明るい未来をめざして事業と運動を創造する＞
＜なかま、家族、職員、市民、行政と共同しながら、民主的な運営をはかる＞
＜ここで生まれてよかったと思える地域づくりを進める＞、の五点です。

〝令和〟という新しい時代を迎えてこれらの理念を改めて思い起こし一層より良い施設づくり、地域づくり、事業運営に励むことが求められていると思います。これらのために、今まで以上お互いに努力し、より良い施設、地域を作りたいものです。

最後に私事になりますが、この年度末をもって理事長を辞任したい旨を申し入れています。

ただ、こぶしの会の規定により、「辞任の承認は、評議員会と理事会の承認を得なければならない」となっており、6月末の辞任となります。

辞任の理由は、私自身の高齢と、人心一新して新しい時代の施設づくりに邁進して貰いたい、の二点です。本当に長い間ご協力いただき、心より感謝しております。

新理事長の元でも引き続きこぶしの会へのご鞭撻、ご協力、ご支援をお願いして、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

令和元年（2019年）6月1日

居宅News

Caring home

ぐうぐうハウス・ひまわり

日帰り旅行行ってきましたので

ストライクでましたー。

来たる3月3日お雛様の日にぐうぐうひまわりで日帰り旅行。8月から給料より積み立てたお金でミシガンクルーズ&ボーリングに行ってきました。2月頭ぐらいから、インフルエンザや胃腸炎がホームで流行してしまい、決まるのがギリギリになりましたが、みんなで相談しながら行き先を決めました。話し合いをしながら色々な場所をみんなに勧めたり、「ここがいいんじゃない?」と楽しそうに想像しながら考えたり、写真の情報から選んだり、と思い思いの表現がある中、ミシガンクルーズに人気が集中。バイキングだったところもミソだったのかなと(笑)

当日は小雨がぱらつくお天気でしたが、行きの車の中は楽しい雰囲気です。着いて先にゆっくりとお土産物屋さんでお買い物。女性陣は誰に何を渡そうか思いを馳せながら買いましてメインイベントのミシガンクルーズ80分の旅です。バイキング、出航前にはみんな食べるスタンバイOK。豪華な料理と客船で舌鼓。雄大な琵琶湖も観られ、記念撮影や音楽隊の生演奏と特別尽くしで気分は紳士淑女です。そのあとはボーリング大会です。力自慢の仲間や意外な投げ方からストライクを取る仲間など、ハイタッチを交わし、絆を深め良い汗をかきました。夕食はサイゼリヤで大会上位者の表彰しながらクールダウン。銘々のお土産も間違えず確認して無事カエルです。

寝食をともにする仲間たちと準備から帰宅まで共に楽しく行うことが出来て幸せな時間でした。物事の過程から結果まで丁寧に支援させて頂けることの歓びと良い仲間とスタッフ集団に恵まれていること。これからもグループホームで文化的な何気ない日々を創りながら、特別な日をより特別にしていけたらなと改めて感じました。楽しい楽しい時間でした。

(文責　赤尾信也)

相談支援News

Consultation support

こぶしの会相談支援センター

65歳問題、介護保険優先原則をめぐって
～浅田訴訟、全面勝訴判決の意義～

岡山市に住む、重い脳性麻痺の障害をもつ浅田達雄さんが65歳を前に岡山市から介護保険への切り替えを求められ、従来通り障害者サービスの継続を希望したところ「要介護認定がなされていない」と、一方的に支給を打ち切られました。この決定取り消しを求めて岡山市を提訴したのが、浅田訴訟です。昨年12月、一審の岡山地裁に続き、広島高裁においても原告・浅田さん側の全面勝訴となり判決が確定しました。

何より注目されるのは、「介護保険優先原則」に踏み込んだ判決だということです。介護保険とは、目的も、対象も、給付内容も異なるものであるということ。障害者が自立した生活や社会参加するための福祉サービスと、加齢による要介護状態になった者の日常生活を支援する介護サービスは、「同じ地位とはいえない」と言及。そして、65歳を境に一律に障害者サービスを打ち切るのは誤りで、どのようなサービスが必要か、自己負担額のことも含め、行政は給付の選択を行うべき、としたのです。厚労省の「適用関係」通達や、自立支援法違憲訴訟の「基本合意文書」もその根拠となった判断は画期的です。

しかし、まだ機械的で理不尽な対応をしている自治体も多くあります。65歳が近づくと、一斉に介護保険申請の通知が送られてきて、相談支援事業所がまずはその切り替えを促す役目を果たしたり、65歳が近づくと、介護保険に順応できるよう居宅支援時間を1回1時間以内に減らすサービス利用計画をつくったりすることが、身近にもあるのです。奈良市においては、介護保険を申請したうえで「上乗せ支給」する形をとっていますが、原則1割の利用料負担は重く、上乗せ支給にも色々な制限がかけられていかないか不安はあります。利用者の願いと制度をつなぐ最前線にいる相談支援事業所だからこそ、日々の相談の中で、この判決のもたらした意味を生かしていきたいものです。

(文責　小針康子)

生活介護 News

Life nursing こっから

みんなと一緒ならできる!?

とうふ工房では1年に1度仕事をお休みさせてもらい日帰りでお出かけに行きます。販売が少し落ち着く3月に行くことを仲間に伝えていると、年が明けた1月から「お出かけはどこへ行く？」と計画が始まりました。3つほど候補をあげその中から今年は「清水寺」と決まりました。

当日は少し肌寒かったのですが、みんなオシャレをして電車とタクシーで清水寺に向います。散策の時間を長くとるためにタクシーを利用するかしないかを、みんなで相談している際、「タクシーには乗りません。歩いていきます。」と一人の仲間が言っていました。歩いていきたかったのか、その仲間はなかなか車に乗り込もうとしません。ですがみんなが乗ると何事もなくタクシーに乗り込み一緒に清水寺へ向いました。

清水寺は改修工事で雰囲気を味わうことが出来ませんでしたが、試食を食べ歩いたりしながら二年坂を散策し、京都の風情を満喫しました。お昼ご飯はとうふ工房だけに「とうふ御膳」のお店でランチでした。

翌週、「タクシーに乗らないと」言っていた仲間の家族との連絡ノートには「タクシーには今まで乗ったことがなくて、誘っても乗ってくれなかったのにみんなと一緒なら乗れるのですね。良い経験をさせてもらっています。」と書いてありました。そんなことを何にも知らなかった職員は、そういえばタクシーに乗る前にそんなそぶりがあったような、なかったような…

集団の力ってすごいですね。　（文責　田村智章）

なかま自治会

なかま自治会

まつりがあります。

ほんだりなです。

4月に話し合ったことは2つです。

① 帰りの会でみんながあつまない1時間を変更したほうがいいのではないか。

② 奈良交通バスの（帰り）時間が変更になり、あわててバス停にむかう人がいるのでとてもあぶない。どうしたらいいか。

いつしょうめんけりはなしあいました。

Topix

1月

初詣(1.4)
般若寺に詣りました。今年は新しい元号に変わる年。皆様、良い一年になりますように。

書き初め(1.12)
何を書いたのかな？抱負？　好きな食べ物？　好きな言葉？今年はやっぱり平成って書きたい?!

凧あげ大会(1.26)
オリジナルな凧ができ上がりました。でも風がなくて飛ばずじまい…。

12月

クリスマス会(12.24)
今年もそれぞれの有志の出し物は大盛況!プレゼントはスノードームと靴下でした。

おもちつき(12.28)
仕事納めはお餅ついとかんな年越されへん!1人1回ずつ回ってきました。10回ついたら交代やでー。

3月

春咲きコンサート(3.17)
ぐうぐう･ひまわりで参加。最後はみんなでステージに上がって満喫しました。

パンの部屋外出:ラッキーガーデン&生駒山上遊園地(3.22)
ラッキーガーデンでのランチ。おいしいひとときを過ごしました。生駒山上はちょっと寒かったです。

紙すき外出:おひさまランチ&馬見丘陵公園(3.20)
高田にあるおひさまランチでお腹いっぱい。その後の公園散策で消費できたかしら?

活動外出:大阪 アクアライナー
電車でちょっと大阪まで。みんなでアクアライナーに乗船。ランチも美味くてさすが大阪。

4月

護国神社椿まつり
近くの護国神社の椿まつりに参加。こぶしの会の商品を販売させていただきました。

1月19月　成人式

1月19日にこっからでも平成最後の成人式が開かれました。

大人の門出のお祝いに家族の方にも式にご出席いただき、大勢の人達に見守られ、今年は2名の方が成人を迎えました。それぞれの新成人の方の席の後ろには、10枚程の写真にエピソードを添えて、どんな感じで20年を歩んでこられたのか成長の様子が分かりやすく掲示されていました。それぞれの仲間が沢山の経験のもとに成長をされ、こっからに縁がありこうやって一緒に働いているんだなぁと胸がジーンと暑くなりました。若手のますますの活躍をこっからベテラン陣一同、楽しみにしています。

ここすた仲間自治会のあゆみ

「平成」の元号が発表されたとき、どこで、だれと何をしているときに知りましたか?

私には、30年前のその瞬間を思い出すことができません。しかし、「令和」という言葉を聞き、漢字を見たときのことは、これからも忘れることがないでしょう。

なぜなら、「ここすた自治会」の会議中に発表をみんなで知ったからです。

2019年度の新しい役員を仲間自身で話し合い決めた後、一年間の活動を考えている最中でした。会議では、「少数意見を大切にしよう」「はじめてのことに挑戦しよう」の2つを合言葉に話し合っています。その日は、「ここすた旅行を一泊にするか、日帰りにするか」という話をしていました。ある仲間は、「去年一泊旅行だから（という理由で）参加できなかった仲間がいる。だから、日帰り旅行がいいと思います。」と発言しました。なかまを思いやり、誰もが参加できるように知恵をしぼる。このような話し合いができるようになったのは、3年間の積み重ねがあったからだと感じています。

2016年4月4日、記念すべきはじめての「ここすた仲間自治会」が誕生しました。

休んでいる仲間の意見もきちんと取り入れたい、とアンケートを考えたり、「こっから仲間自治会」に組み込まれていた会費を「ここすた」で通帳を作り管理したいなど自立・主体性が初年度から発揮されました。職員がどのように自治会に関わるか、ということも仲間自身で考えました。

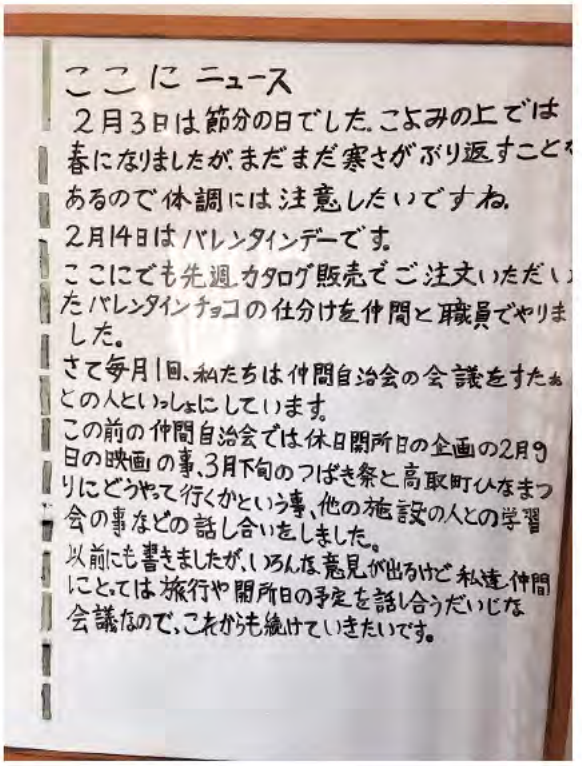
クリスマス会の企画では、オードブルを用意するにあたって、なかまがコンビニやスーパーに値段を調べに行き、パンフレットを取り寄せていました。

また、「会議をわかりやすくするために、レジュメを作りたい」と工夫を凝らしたり、自治会費の使い道では、予算を立てて「プロジェクターを買いたい」と計画立てたりしました。プロジェクターは、「DVDを見たい」という動機から出発しましたが、休日開所日のイベントをみんなで考えるときに、ネットにつないで調べ物をしたり、イメージを膨らませたりして使えるため画期的な買い物だったと思います。仕事が終わってから、電化製品店に行き、店員さんから説明を受け、「高すぎるから別の方法で購入を検討する」という結論を仲間が選択したのも印象的でした。

「さて毎月一回、私たちは仲間自治会の会議をすたぁとの人といっしょにしています。…いろんな意見が出るけど私たち仲間にとっては、旅行や開所日の予定を話し合うだいじな会議なので、これからも続けていきたいです」という文章がなかまの声をまとめ、代弁しているように思います。

さて、「令和元年」は「ここに」8周年、「すたぁと」10周年でもあります。
どんな時代を仲間が切り拓いていくのか、とても楽しみです。

（文責　島　耕治）



2019年度　こぶし後援会総会

2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

星に語りて Starry Sky

■日時　7月13日(土)　13:00～16:00
■会場　コミュニティワークこっから　食堂
■日程　13:00　開場
13:15　映画上映【入場は無料】
15:10　終了
～　休　憩　～
15:30　定期総会
16:00　終了予定

今年の総会は映画上映会!!

きょうされん40周年記念映画『星に語りて（115分）』

2011年3月11日。あの東日本大震災で障害のある人たちはどんな状況に置かれたのか。そして全国各地からどのような支援が入っていったのか。当時を知る関係者への取材と、実際に起こったエピソードを基に人間味あふれるドラマが繰り広げられます。また全国からオーディションで選ばれた障害のある仲間が重要な役として出演しているところも見どころです。この映画を通して震災の記憶を風化させず、また今後の防災について考える一日になればと思います。後半の総会と合わせ、たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

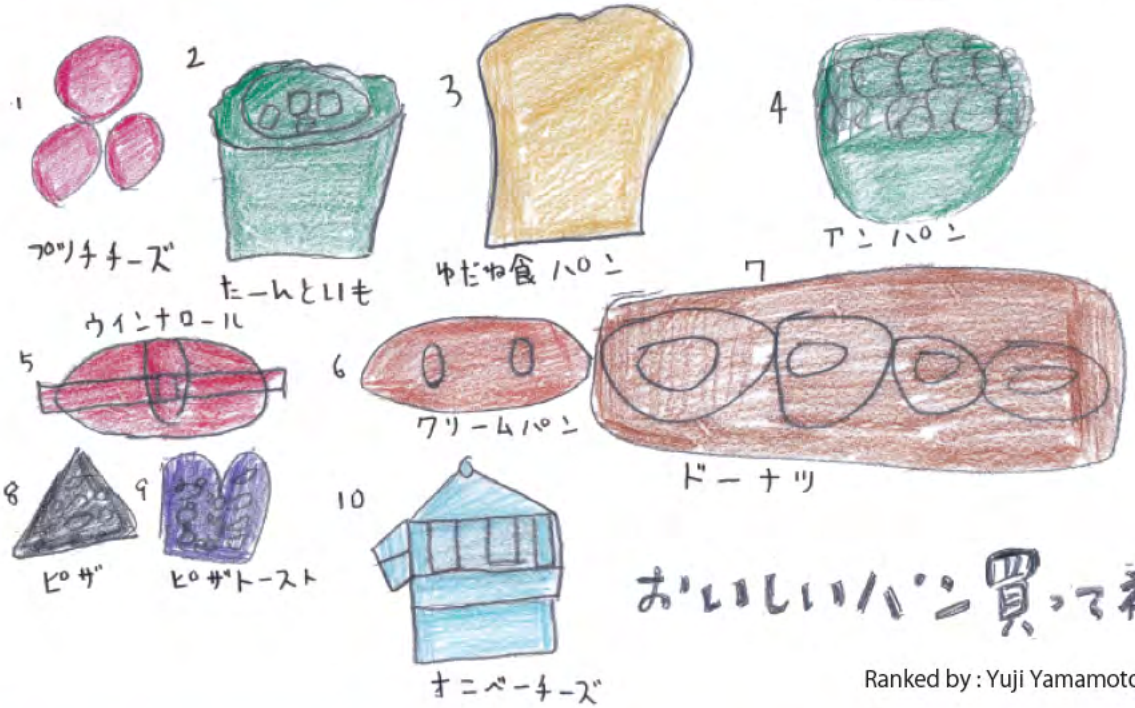
きょうされん40周年記念映画　松本 動 監督作品

出演／要田禎子　螢雪次朗　今谷フトシ　植木紀世彦　枝光利雄　菅井 玲　入江崇史　宮川浩明　生島ヒロシ　赤塚真人
製作統括／西村 直　企画／藤井克徳　脚本／山本おさむ　音楽／小林洋平　プロデューサー／新井英夫
撮影／鈴木雅也　照明／古橋孝映　録音／西岡正巳　美術／津留啓亮　編集／古賀陽一　スクリプター／山下千鶴
衣裳／杉本京加　ヘアメイク／清水美穂　ラインプロデューサー／赤間俊秀　助監督／佐藤 吏　制作担当／富田政男
制作プロダクション／ターゲット　製作／きょうされん　〈2019年／115分〉

パン工房に聞いてみました。
私のおすすめランキング!

パン工房

こっからパン 売れ筋 トップ10



おいしいパン買ってね

Ranked by : Yuji Yamamoto

1位 USA-DAPUMP

ダパンプの歌 歌ったり ダンスも得意で上手いです。

2位 ドラッグのマツモトキヨシ

ドラッグのマツモトキヨシで 品物がたくさんあります。

3位 あべのハルカス

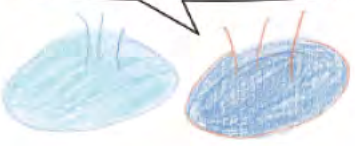
あべのハルカスは景色いっぱい 見たいです。

4位 カラオケ

カラオケは歌が上手くて どってもいいです。

5位 温泉

温泉は気持ちいいです。



生活支援のための施設建設を、みんなの力で！

～新たな困難を乗り越えながら、一歩一歩進めます～

常務理事　坂　下　伸　一

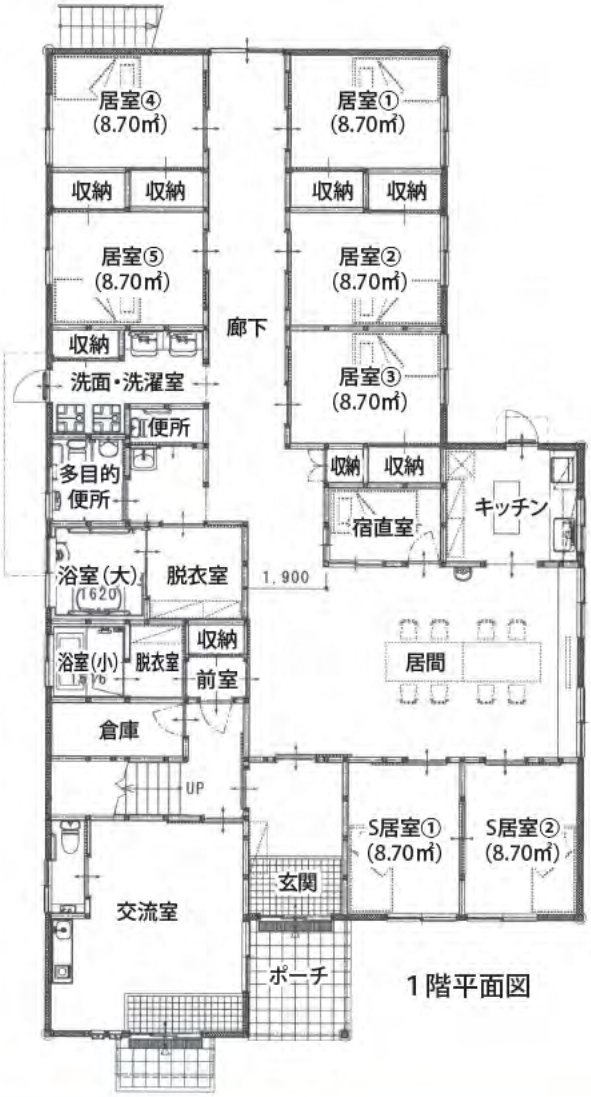
■建設費高騰の中で

災害復興や東京オリンピックの建築ラッシュによる人手不足・資材高騰がマスコミを賑わしています。その中で、今回のグループホーム（GH）建設準備が行われています。従って、当初の計画案では予算を上回ることになり、設計図や設備変更を行うことにしました。個人居住スペースは当初のままとし、共有スペースや事務所等の広さを狭め、建築面積を絞ることにしました。エレベーターも設置しないことにしました。相談支援事業の移転も考えていましたが、それも行わないことにしました。このように、全体として計画を縮小しましたが、GHとショートステイという生活支援の機能に集中することにしました。

■入居者選考スタート

新GHの入居予定者の選考も始まりました。定員の倍近くの入居希望があります。希望者全員に入居して欲しいのですが、そういうわけにもいきません。そこで、選定委員会をつくり、仲間や家族への個別面接を進めています。今回のGHは、建設内容からして支援度の高い仲間の入居が中心になりますが、仲間を支えてきた家族の状況も加味し、決定していきたいと考えています。また、公平に決定していくために、法人外（第3者）の意見も参考にし、経営委員会で確認していきます。

GHの建設は今回の1棟だけではありません。今後もGHを増やしていきます。今回入居できなかった仲間も随時入居できるようにしていきます。



1階平面図

2階平面図

ありがとう ございました！

寄　贈

♥カーブス様より

2月25日にカーブス様よりフードドライブという取り組みで会員様よりご協力いただきました食料品・調味料等をご寄贈いただきました。例年よりも沢山の品数をいただき、とても感謝しております。これらの食品はこっからでの仲間のおやつ作りなどの調理活動で使用したり、グループホームの食材として活用させていただきます。ありがとうございました。

♥ザ・ビッグエクストラ大安寺店様より

4月16日に、イオン系列のお店にて毎月11日に実施されているイエローレシートのギフトカードの贈呈式に行ってきました。買い物をされる皆さまからこぶしの会を選んでくださる温かい気持ちが多く、本当にありがたいです。法人内での活動等に使用する物品の購入に活用させていただきます。ありがとうございました。

タンブラーになりました！

公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）主催の“JAGDAつながりの展覧会Part2　チャリティ・アート・タンブラー〝デザインの力で障害のあるアーティストとパラリンピアンを応援します〟において協力団体のエイブルアートに登録されている、こっからの乾泰誠さんのイラストがコーヒータンブラーに選ばれました！　151人の方の作品が年内に全国で巡回展示の予定です。1つ1500円（税込）で販売収益は日本パラリンピアンズ協会へ寄付されるそうです。タリーズコーヒーも特別協力していてどこかの店舗で泰誠さんのタンブラーに出会えるかも！？　今夏にはJAGDAのオンラインショップで販売になりますので是非一度サイトを覗いてみてください。泰誠さん、これからも良い作品を沢山創り出してくださいね！

編集後記

年号が変わることになり、それに合わせて過去最大の10連休が重なり、日本中が大騒ぎした今年のゴールデンウィーク。でも過ぎてしまえば、何事もなかったかのように、またいつもの日常に戻り、日々が繰り返されています。そして気づけば1年も約半分が経過し、時間が過ぎるのが早いなぁとの常套句があちこちで交わされます。油断してるとどんどん過ぎ去っていく毎日に、一旦区切りをつけたり、気持ちをリセットする「節目の一年や一日」をだから私たちは大切にしてきたんだなと改めて思ったりします。大晦日にお正月、年度終わりと始まり、誕生日や設立〇周年の記念日、成人式や年回忌…。そうやって流れ続ける時間に無理やり理由を見つけては立ち止まったり、過去を振り返ってみたり、未来への目標や約束みたいなものを誓ったり。

一昨年の制度改革で社会福祉法人は6月の定時評議員会が1年の区切りと決まりました。そしてこぶしの会は令和元年となった今年、まさに大きな節目を迎えます。強烈なリーダーシップの下で発展してきたこの30年から、新しい組織のあり方でこれからを引き継いでいきます。もの凄いスピードで移っていく社会情勢や環境やニーズに素早く対応しながら、設立当初の願いや理念（目的）を決して見失ったり手放したりしない。不安がないわけではないけれど、みんなで一緒に笑って歩いていきたいな。これからも夢や希望をもって一歩を踏み出し、正しく変化し続けていきたいと思います。藤井理事長、長い間、本当にご苦労様でした、そしてありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。　（古木一夫）